

梅雨の前に、夏が来たかのような暑さが続き、ひょっとしてこのまま夏になるのではと思われました。しかし、遅れながらも梅雨です。雨はしっかりと降ります。それもしとしとではなく、ザーザーという降り方で、外での業務が難しい時もありました。

雨が降っていなければ、いくら暑くても外での業務です。十分な水分を補給しながら、作業時間も短めで休憩をしっかりとって業務を行います。暑くても、草は元気に成長してくれますので、成長するスピードとの競争です。スタッフ二人ですが、作業内容や方法を工夫して取り組むことで、昨年度までと同程度の作業量をこなすことができています。大変すばらしいことだと思います。スタッフの二人に感謝とエールを送ります。

雨が降れば、主に体育館や特別教室での業務となります。体育館のフロアやトイレは社会体育などで使用したグループが掃除をしていますが、バルコニーや窓、扉のレールなどの掃除はほとんどされていません。バルコニーには虫は当たり前で、時には鳥や蝙蝠の死骸も残されています。体育倉庫も、日ごろは荷物が置いてあるのでなかなか掃除がなされていません。そういった場所の掃除を、二人で協力しながら進めていきました。

6月末には、ボーナスが支給されました。今年度から勤勉手当が支給されることになり、スタッフはニコニコ笑顔です。今月からは、新しく男性スタッフが入りましたので、3人での活動となります。先輩としていろいろ教えていってくれるでしょう。

体育館バルコニー清掃



業務依頼を受けている小学校の体育館は、比較的新しくバルコニーも安全にできています。まずは床面を掃いたり水拭きしたりします。虫の死骸が多く落ちていました。窓枠にも虫の死骸がたくさん落ちていますが、帚できれいにしていきます。そのあとに窓枠も含めて窓ふきをしていきます。

緑も色濃くなりました



草も生えてきますし、花が終わった生垣の剪定も作業内容として進めていきます。梅雨に入る前に完了することを目指して行ってきました。スタッフは電動の刈り込みばさみを使用して、きれいに水平や垂直を意識しながら刃をあてていきます。完了後には、さっぱりして木々がお礼や感謝を言っているように感じられます。「ありがとう」「お疲れさま」